

iNat

研究者必見!

国プロの知財の落とし穴

～知財支援はiNat(アイナット)～



独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training



国プロの知財の落とし穴

あなたのプロジェクトでは
こんなことはありませんか？



知財は大事って聞くけど、
正直よく分からない……
今はプロジェクトが忙しいから
後回しにしよう



プロジェクトで生まれた成果は、
とりあえず、企業と共同出願しておけば
いいかな



ノウハウの管理はルールを作るのも
大変そうだから緩くてもいいかな

国プロの研究成果を実用化・事業化するためには、
初期段階から知財マネジメントを
適切に行うことが重要です。

お困りの場合は、INPITの国プロ支援

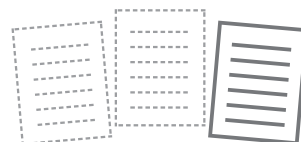
iNat（アイナット）をご活用ください。



放置していると……

研究成果の事業化・実用化の障害に！

保護不足



事業化に必要な知財が確保されていない

交渉難航



権利関係が複雑で研究成果の活用が難航

秘密漏洩



研究中のノウハウがプロジェクト外に流出



INPITの国プロ支援「iNat (アイナット)」

支援対象は？

大学・研究機関、
ファンディング
エージェンシー



何をするの？

プロジェクトリーダーを助ける
「知財戦略プロデューサー」
を派遣



費用負担は？

無料で利用可能



支援期間は？

1年単位で
継続可能
(年間90日まで・
審査あり)



プロジェクトの進捗に合わせて、様々な支援が可能です



知財戦略プロデューサーは、 プロジェクトリーダーの頼れる右腕！

このような支援を行えます



プロジェクト 初期

- 知財情報調査・分析
- 知財戦略の策定

事例 1 (NEDO)

プロジェクト 中期

- 進捗や状況に応じた知財戦略の見直し
- 出願戦略の策定

事例 2 (大阪大学)

プロジェクト 終期

- 知財発掘
- 事業化シナリオのプランニング

事例 3 (東北大学)

知財戦略プロデューサーの紹介



本田 卓

資格
一級知的財産管理技能士、
工学博士

得意な技術分野

材料、化学、エネルギー、環境

主な経歴

日立製作所日立研究所等において研究開発と事業化に携わり、関東地方発明表彰等を受賞
General Electric Co. (客員研究員)、宇都宮大学大学院 (客員教授)、科学技術振興機構 (特許主任調査員) 等を経て、2011年から現職
●生体調和エレクトロニクス、マテリアルズ・インフォマティクスなど10件のプロジェクトを担当
●基礎研究から社会実装に至る知財戦略の策定、知財取扱ルールや管理体制の整備、発明発掘から特許調査・出願、さらにスタートアップ創出やコンソーシアム設立などを幅広く支援
2011年 - 現在：発明推進協会 (INPIT事業：知的財産プロデューサー、知財戦略プロデューサー)

支援実績

単層CNT融合新材料研究開発機構、次世代プリントエレクトロニクス研究開発組合、新エネルギー・産業技術総合開発機構、東京工業大学、東北大学、産業技術総合研究所、東京大学



森本 勲

資格
博士 (工学)

得意な技術分野

ものづくり系、エネルギー系、IT系

主な経歴

旭化成株式会社において研究開発と事業化に携わり、相変化光ディスクの発明と事業化により関東地方発明表彰を受賞、リサーチフェローに任命、工学博士号を取得、学会幹事、研究機関評価委員、論文審査委員等を経験。科学技術振興機構 (特許主任調査員) を経て、2020年から現職
●Society5.0 (データ駆動型社会)、細胞培養、ファインセラミックス、マイクロLEDのプロジェクトを担当
●知財戦略・出願戦略の策定、特許調査・分析、発明発掘、データ利活用の法務、特許・商標・著作権などを幅広く支援
2020年 - 現在：発明推進協会 (INPIT事業：知的財産プロデューサー、知財戦略プロデューサー)

支援実績

大阪大学、産業技術総合研究所



小川 隆由

得意な技術分野

ものづくり系、バイオ系、農業系、
エネルギー系、環境系

主な経歴

キリンビールにおいて、ビール工場の生産・品質管理及び全社の環境管理部門を経て、ミュンヘン工科大学 (食品工学) に2年間留学。復帰後、米国飲料会社との合併事業の設立と運営に関わり、企画部門を経て、知的財産部長を経験
2012年より現職
●9件のプロジェクトを担当し、特許情報調査と特許戦略の策定、知財管理体制の整備と運営及び発明発掘から特許調査・出願などを支援
2012年 - 現在：発明推進協会 (INPIT事業：知的財産プロデューサー、知財戦略プロデューサー)

支援実績

次世代化学材料評価技術研究組合、産業技術総合研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、東京藝術大学、琉球大学、横浜国立大学、東北大学

知財戦略プロデューサーの一覧はこちら！





支援事例 1

プロジェクト初期

環境に優しい次世代冷媒と 空調技術の実用化



プロジェクト

次世代低GWP冷媒の実用化に向けた高効率冷凍空調技術の開発

支援先

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

概要

地球温暖化を抑制するため、空調機や冷凍冷蔵機に適した、次世代冷媒の基本特性評価、安全性・リスク評価から冷媒および適用機器要素技術の開発を一気通貫で実施する。

プロジェクト紹介サイト

詳細は
こちら！



POINT

01

課題

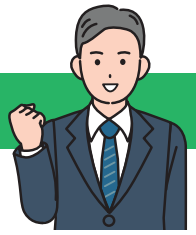
将来的な研究成果の普及には
今後厳しくなる冷媒の安全性・環境規制への適合が必要。



そのためには、次世代冷媒に関連する技術や知財の動向だけでなく
規制や標準化の動向も把握したい。



また、プロジェクト内には研究グループが複数あるので
各グループを連携させる知財・標準化戦略を作りたい。



○ 知財情報調査・分析

知財戦略と標準化戦略を考えるためには、
まずは準備として調査を行うことが大事です！

Action

- ✓ 知財戦略プロデューサーは、**特許等の調査に精通**しているため、プロジェクトの研究開発の進捗に合わせて、知財の動向を調査します。
- ✓ また、知財戦略プロデューサーは、外注調査を活用して技術・規制の動向も把握し、総合的に調査結果を分析して、知財戦略の策定に役立てます。



○ 知財戦略の策定

プロジェクトの参画者が多くなると、研究開発状況等を把握して戦略を検討するのは大変です。知財戦略プロデューサーにおまかせください！

Action

- ✓ **各研究グループへの訪問や参画者ヒアリング**を行い、研究状況や知財課題を把握し、上述した**調査・分析も踏まえて、知財・標準化戦略を提案**します。
- ✓ プロジェクトの要望を踏まえ、研究グループが進める研究開発項目毎に戦略を立案して、各グループ連携が促進されるようにします。



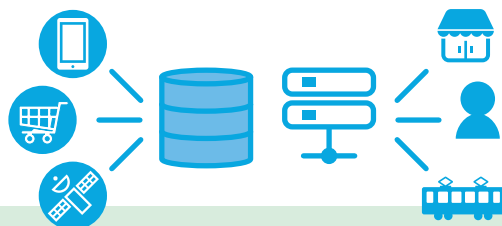
プロジェクトの目標達成には、ノウハウを持った専門家の協力による取り組みの加速が必要です。プロジェクトリーダー／マネージャーと連携し、事業者に寄り添った支援をお願いします。

プロジェクトマネージャー

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

サーキュラーエコノミー部 フロンチーム チーム長 森 智和氏

安全・安心に医療・健康情報や 日常生活の活動データが 活用される仕組みづくり



プロジェクト

Society 5.0 実現化研究拠点支援事業 「ライフデザイン・イノベーション研究拠点」

支援先

国立大学法人 大阪大学

概要

医療・健康情報や日常生活の活動データを蓄積し、安全・安心にデータが活用される仕組みをつくることで、より豊かで快適な生活を送ることができる社会を創出する。

プロジェクト紹介サイト

詳細は
こちら！



POINT

01

課題

医療・健康情報に、日常生活の様々な活動データを加えた
新たな形態のデータ^(※)を創出。

※パーソナル・ライフ・レコード (PLR)

データを流通させる取引の仕組み（データ流通基盤）の構築などを
進めることができたので、**今後、より大規模な社会実証を行いたい。**

また、コアとなるデータ流通基盤の技術について
知財権利化を確実なものにしたい。



○ 進捗や状況に応じた知財戦略の見直し

知財戦略は、プロジェクトの進展に合わせた修正が必要です。
社会実証を行うこのタイミングで見直しましょう！

Action

- ✓ プロジェクト全体を俯瞰した知財課題の抽出を行ったうえで、プロジェクトを構成する要素技術を整理して、それぞれの知財方針を検討します。
- ✓ これらを総合して、オープン&クローズ戦略に則した**知財戦略の見直しを提案**します。



○ 出願戦略の策定

知財権利化を確実に進めるために、出願戦略を作りましょう。

Action

- ✓ まずはデータ流通基盤の位置付けや優位性を明確化し、要素技術の出願前動向や関連事業環境、法改正、データカタログの標準化状況、データ価値評価方法などを調査、資料化します。
- ✓ これらの調査結果を基に、**今後の出願方針を作成して、プロジェクトリーダーに提案**します。



社会実装において知財の獲得は不可欠であり、知財戦略プロデューサーによる基本戦略の強化、データ流通の基本特許取得、実用化特許出願、関連特許調査の推進など、多岐にわたる支援に感謝しています。

プロジェクトリーダー

国立大学法人大阪大学産業科学研究所 教授 八木 康史氏

終期

■ 事業化シナリオの
プランニング
■ シナリオ検証

土壌微生物による農地由来の 温室効果ガス的大幅削減



プロジェクト

**ムーンショット 資源循環の最適化による
農地由来の温室効果ガスの排出削減**

支援先

国立大学法人 東北大学大学院生命科学研究科

概要

土壌微生物のもつ温室効果ガス削減能力を最大化する技術を開発し、農地からの温室効果ガスの発生を大幅に削減する。

プロジェクト紹介サイト

詳細は
こちら！



POINT

01

課題

プロジェクトが進展し、研究成果から安定的・継続的に
温室効果ガスを除去するための「微生物資材」を開発。



2029年には微生物資材の商品プロトタイプの完成を目指すため
研究開発成果について強く広い特許を取得したい。



さらに、プロジェクトの成果を企業に導出し、社会実装を進めていくために
事業化シナリオの作成と検証を行いたい。

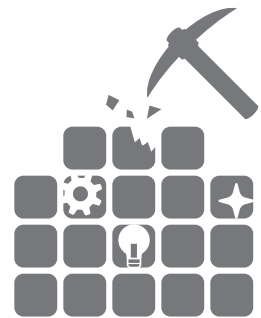


○ 知財発掘

強くて広い特許を取得するには、研究開発の比較的早い段階から計画的に出願の準備を進める必要があります。

Action

- ✓ プロジェクトの参画者が多いと、個々の研究の進捗把握が難しく、出願の準備が遅れることがありますので、知財戦略プロデューサーが支援します。
- ✓ 研究者との日頃のコミュニケーションや、研究進捗ミーティングへの参加を通じて**知財発掘**を行う他、出願の相談があった場合には、**先行技術文献調査を行って、プロジェクトリーダーに結果を報告します。**
また、出願方針についても提案します。



○ 事業化シナリオのプランニング

知財戦略プロデューサーは、民間企業経験者が多数在籍しており、**ビジネス目線でのアドバイス**も可能です。

Action

- ✓ 土壌微生物に関する国内市場調査、資材製造設備の調査を実施し、微生物資材に関する国内事業化シナリオを提案します。
さらにSWOT分析等を通じて、シナリオを検証していきます。



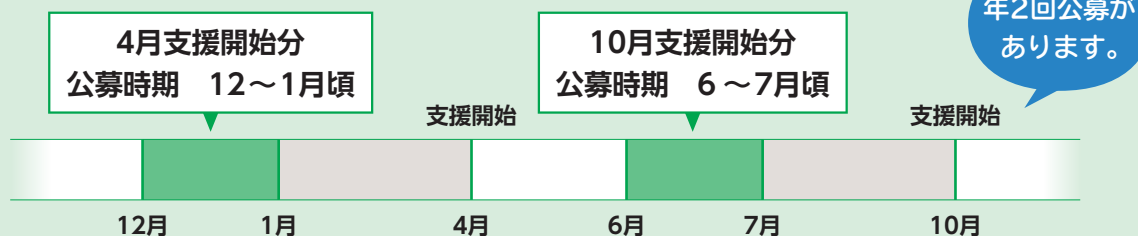
プロジェクトの成果は地球全体の環境に寄与するので、海外特許が重要です。国内出願と国際出願の流れや情勢分析、戦略的な取り組みに向けて、知財戦略プロデューサーの支援をお願いしたいと思います。

プロジェクトマネージャー

国立大学法人東北大学大学院生命科学研究科 特任教授 南澤 究氏

iNatの支援を希望される方へ

■ iNatは、4月支援開始分と10月支援開始分について、年2回、公募を行います。



■ 最新の公募情報はWebサイトをご覧ください。iNatの知財戦略プロデューサーの一覧、現在の派遣先とプロジェクトなども公開中です。

iNat最新情報はこちら!



※公募時期は目安です。最新の状況はWebサイトでご確認ください

いつでも使える相談窓口

こんなお困りごとはありませんか？

- ☒ 国プロではないが、研究成果の活用について助言がほしい
- ☒ すぐに知財相談したい



INPITのアカデミア知財支援窓口にご相談ください！

実務経験に基づく豊富な専門知識を備えた知財戦略エキスパートが、産学連携、スタートアップ創出等について無料でアドバイスします。

アカデミア知財支援窓口はこちら!



お問合せ先

独立行政法人 工業所有権情報・研修館 (INPIT) 知財戦略部 イノベーション・企画担当
 電話：(代表) 03-3581-1101 内線3909
 E-mail：ip-sr05@inpit.go.jp